

# 人権コラム 心、豊かに

## ◆ 共に支えあう仲間

毎年3月21日は、「国際人種差別撤廃デー」です。これは1960年3月21日、南アフリカのシャープビルで人種隔離政策（アパルトヘイト）に反対するデモ行進に対して警官隊が発砲し、多数の人が死亡した事件（シャープビル虐殺事件）が起き、国連が人種差別に取り組む契機となったことから、人種差別撤廃のための記念日とされたものです。

日本で「人種差別」というとピンとこない人もいるかもしれませんが、2016（H28）年に施行された「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）」の附則には「我が国においては、近年、本邦の域外にある国又は地域の出身であることを理由として、適法に居住するその出身者又はその子孫を、我が国の地域社会から排除することを煽動する不当な差別的言動が行われ、その出身者又はその子孫が多大な苦痛を強いられるとともに、当該地域社会に深刻な亀裂を生じさせている」と記載されており、日本でも国籍や人種による差別が起きていることが分かります。

また、上記の法律の第三条（基本理念）には「国民は、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消の必要性に対する理解を深めるとともに、本邦外出身者に対する不当な差別的言動のない社会の実現に寄与するよう努めなければならない」と書かれています。このように、外国人に対する差別は私たち一人ひとりが取り組むべき課題の一つなのです。

現在、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響によって、日本にやってくる人たちは減っていますが、日本で生活している外国人たちに対して「外国人」というだけでお店や宿泊施設などの利用を断ったり、差別的な言動を取ったりするという事象が起きています。

例え国籍や人種が違っていても、日本で暮らしているのであれば、私たちの社会を共に支える仲間です。この大きな困難を乗り越えるために、人間同士で争うのではなく、助け合う必要があるのではないのでしょうか。